



こどもの声に耳をすませて

園庭にいと、3歳女児が、白い雲を見ながら声を掛けてきました。

女児「ねえ竹内さん、雲の上には何があると思う？」

竹内「う～ん、お城かな？」

女児「お城なわけないじゃん！」

竹内「じゃあ、〇〇ちゃんは何があると思う？」

女児「マシュマロだよ。真っ白いマシュマロがいっぱいなの」

竹内「マシュマロ好きなんだね。マシュマロいっぱいがあると嬉しいよね。」

女児「うん。マシュマロだ～いすき！」

そう言って、その子は、満足そうに遊びに出かけていきました。白い雲を見ながら、同じような白いマシュマロを思い浮かべていた女児。こどもの豊かなイメージの世界に触れると心がほっこりします。

0歳児や1歳児でも、指差しや単語で思いを發します。1歳児が、花を指差した時に「お花綺麗だね。」と言うと、不機嫌な顔になり、もう一度指差しました。よく見ると、そこにはテントウムシがいて、その子は、テントウムシがいることを知らせたかったのです。

口頭詩をみんなで集めましょう

口頭詩は、こどもらしい、情感にあふれた、詩のような感じのする言葉、保護者や保育士が書き留めたものです。こどもとの生活の中でのつぶやきから、その子の年齢に応じた思いを見つけることができます。ちょっと腰をかがめて、こどものお話に耳を傾けてみませんか。

全家庭に口頭詩集めの用紙を配布させていただきます。こどもの声や表現から感動した出来事を書いたら、**事務所前のポストに提出**してください。どんどん入れて下さいね。新しい用紙も用意しています。みなさんで集めた口頭詩は、まとまり次第配布したいと思っています。

👹 節分会 ~自分の気持ちと向き合う~ 👹

節分会を2月3日に行いました。節分は子どもたちが、怖いけれど自分の気持ちと向き合い、豆をまくことで、一つ乗り終えたことを実感し新年を迎える準備をするための行事です。

今年是一年長の保護者2名の方が鬼役、年少の保護者1名の方に福の神をやっていただきました。「福は内」とお菓子を撒くのは、遠州地方の風習です。ドキドキする体験の後に、嬉しい体験もして欲しいと願う気持ちが、このような文化になったのだと感じています。

ご家庭でも子どもが心の中の鬼と向き合ったことを認めながら、春を迎えるための、楽しい行事にして頂きたいと思ひます。

ドッジボール交流

1月23日に年長児が、近隣の保育園の年長児とドッジボール勝負を行いました。1回戦、2回戦は園ごとで行い、「みんな(当たらないように)下がって!」「パス(ちょうだい)」等と声を掛け合い奮闘しましたが、2回とも負けました。声には出さず、目に涙をいっぱい溜めながら、悔しい気持ちを表す子が、複数名いました。

3回戦は、まつのき・近隣保育園合同の、男の子対女の子の勝負でした。結果は男の子チームの勝ちでした。

ドッジボールが終わり、室内で自己紹介をしてから近隣の保育園の玩具を使って遊ばせてもらいました。コマやすごろく、あやとり等の昔ながらの玩具に触れて遊んでみる事ができました。

自己紹介の際に、4月から行く学校を紹介すると「僕と同じ小学校だ。」等と言ひ合ひ、意識している姿もありました。近隣の園のこどもたちの交流によって、こどもたちの世界も広がっていきます。今後も続いていくよう、他園との関係づくりも育んでいきたいと思ひます。



2月の目標

- ひよこ … 保育者と一緒に身体を動かしたり、やり取りしたりすることを楽しもう。
- りす … 好きな遊びにじっくりと取り組む中で、自分の思いを表現しよう。
- うさぎ … 友だちとのやり取りを楽しみ、ごっこ遊びを広げていこう。
- あおむし … 遊びの中で自分の思いを出し、友だちと一緒に表現する楽しさを味わおう。
- さなぎ … 気持ちを言葉で伝え合いながら、折り合いをつけようとしていこう。
- ちょう … 友だちと互いの良さを認め合いながら、遊びや生活を進める楽しさを味わおう。
- 異年齢 … 発表会に向けて互いの思いを伝え合い、繋がりを深めよう。



2/6 生活発表会総練習の様子

うさぎ組は、ステージから飛び出してホール中を走り出し、笑顔いっぱいのびのび楽しんでいました。幼児は、お話しの世界を皆で共有し、表現することを、気の合う仲間同士で楽しむ姿がありました。劇の最中に「はやくおべんとうたべたい。」と言っている子や、3学年合唱をのびやかに歌い終わると「やったーおべんとうだ!」と、お弁当が楽しみな子ども達でした。↓友だちの演じる姿を楽しむ。



ソワソワと出番を待つ。 仲間と役を楽しむ。

生活発表会をお楽しみに



劇が始まる前のワクワク